

Reside everywhere, all around,
in every smallest of grants

हर जगह, हर तरफ, हर छोटे से छोटे
कण में निवास करते हैं

2025

いのちのかたち
Bhajju Shyam
KYOTO



2025.10.10 (fri.) — 10.28 (tue.)

AM9:30 — PM4:30

入場無料

Entrance Free

東寺 | TOJI TEMPLE

世界遺産 真言宗総本山 教王護国寺

世界を魅了する、インドの国民栄誉賞受賞アーティスト Bhajju Shyam ふたたび京都へ——

ボローニャ・ラガッツィ賞に輝いた『夜の木』(Tara Books 刊) の共同著者であり、
インドを代表するアーティストの一人として、国際的な活躍で知られるバッジュ・シャーム。

2023年に世界遺産・東寺で開催された日本初の個展「Bhajju Shyam KYOTO」では、
おらかさと緻密さ、鮮烈さと静謐さ——
そのどれもが自然に息づく作品群で、深い感動の渦を巻き起こしました。

第二章となる本展では、インド中央部の先住民・ゴンド族というルーツや、
ゴンドアートの本質的な特徴の一つである“Signature”と呼ばれる表現をたどります。
インドと日本、いにしえと現代、神話と日常——
そのあわいを静かに結ぶ新たな作品世界が、東寺という特別な空間に立ち上がります。
細部にまで慈しみの宿る、バッジュ・シャームのまなざしを感じていただけることでしょう。

私たちゴンド族は、自分たちの伝統に従って生きています。
基本的に偶像崇拜はしません。私たちは自然崇拜者です。
太陽を崇拜し、山を崇拜し、川や湖について語ります。



1. 《Prakrti》2024 / 2. 《Untitled》2022 / 3. 《Untitled》2024 / 4. 《Untitled》2024 / 5. 《Untitled》2024
表面：《Untitled》2023 ©Bhajju Shyam

バッジュ・シャーム インド中部の森にあるゴンド族の村バタンガル生まれ。ゴンド族に伝わる表現や物語を受け継ぎながら自身の視点で昇華し、
現代的な感覚やシンプルなストーリーテリングを交えて表現することで、現代ゴンド・アートの表現を拡張し続けている。1998年バリ装飾美術館でのグループ展
参加を皮切りに、世界各国で個展やグループ展が開催されている。代表作に、南インドの出版社タラブックスと制作した『夜の木』や『世界のはじまり』など。
2018年には日本の国民栄誉賞に相当するパドマ・シュリ賞をゴンド・アーティストとして初めて受賞した。2023年には日本初となる個展「Bhajju Shyam
KYOTO」が世界遺産・東寺(京都)にて開催され、19日間の開催で延べ約1万人が来場。本人も初来日を果たし、京都や日本文化をテーマとした作品を制作した。



Photo: Helvetica

Bhajju Shyam いのちのかたち KYOTO

会 期	2025年10月10日(金) — 10月28日(火)	会期中無休
開場時間	9:30 — 16:30	
会 場	世界遺産 真言宗総本山 東寺 [教王護国寺] 食堂 (じきどう)	
	京都市南区九条町1番地	
入 場 料	無料	
アクセス	JR「京都駅」八条口より徒歩15分 近鉄「東寺駅」より徒歩10分	
		
主催・企画	バッジュ・シャーム・キョウト実行委員会 (JAPANDIA・VISIONS)	
特 別 協 賛	日本ヨーガ禅道院	
後 援	京都市、京都市教育委員会、在大阪・神戸インド総領事館、 NPO法人 日本インド文化経済センター (NICE)、 エフエム京都、KBS 京都	

関連展示

ジェイアール京都伊勢丹 ＜バッジュ・シャーム・キョウト＞ 特別展示販売

会期：10月14日(火) — 10月20日(月) 10:00 — 20:00
場所：ジェイアール京都伊勢丹 3F ザ・ステージ #3

原画・複製原画・グッズを展示販売。伊勢丹限定商品も登場。

関連展示

Gallery SUGATA サテライト展示

会期：10月22日(水) — 11月9日(日) 11:00 — 18:00
※休廊日:10月27日(月)、28日(火)、11月4日(火)
場所：京都市中京区室町通二条下ル蛸薬師町 271-1

京都発の貼り箱ブランド「BOX&NEEDLE」の展覧会にて、
コラボ商品の展示販売と原画展示。